

令和3年度豊田市民芸館 第34回特別展
柳宗悦と民藝運動の作家たち

[会 期] 令和3年10月26日(火)～令和4年1月30日(日)
[会 場] 豊田市民芸館第(1・2民芸館) 〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100



白釉黒流描鉢 濱田庄司 1963年 日本民藝館蔵

[開催概要]

会館時間 午前9時～午後5時
休 館 月曜日、年末年始(12月27日～1月4日)ただし祝日(1月10日)は開館
観 覧 料 一般300円 高大生200円
中学生以下と70歳以上、豊田市内在住・在学の高校生、障がい者は無料(要証明)
主 催 豊田市・豊田市民芸館
出品協力 公益財団法人 日本民藝館

[展示概要]

大正時代末期に、白樺派の同人で宗教哲学者の柳宗悦によって主導された民藝運動。それは、暮らしの中に生きる伝統的な人々の日常品に至上の美を見出し、その無銘品に民衆的工芸を略した「民藝」という呼び名を冠して従来にない新しい美意識を提示した動向でした。

この日本発の独創的な工芸運動は、柳を軸にバーナード・リーチ、河井寛次郎、濱田庄司といった陶芸作家との交友のなかで確立され飛躍していきます。彼らは、ともに各地を旅して多くの美しい品々を蒐集すると同時に、積極的に地方の職人との共同制作や指導を行います。そしてまた個人作家たちは民藝品から多くの滋養をくみとりながら、それぞれの信じる新しい表現の道を開拓していったのです。

柳宗悦らが、日常の生活道具の美しさに注目して考案した新しい美の概念は、今なお人々を触発し、私たちの生活文化にも影響を与えています。「民藝」という言葉が生み出されてから、間もなく100年が経とうとしている現在、柳とともに民藝運動を推進した作家たちがどのような道をたどり、作品を残したのか、この機会にその行跡を見直すことはたいへん意義深いことだと思います。

本展は、日本民藝館創設 80 周年特別展の 1 つとして 2017 年（平成 28 年度）に日本民藝館で開催された展覧会を再構成したものです。民藝運動を牽引した河井、濱田をはじめ、バーナード・リーチ、芹沢銈介、棟方志功の作品を一堂に展覧し、その魅力にせまります。また彼らに続く片野元彦、船木道忠、黒田辰秋、柳悦孝、金城次郎、鈴木繁男、岡村吉右衛門、島岡達三、武内晴二郎、柚木沙弥郎、船木研兒ほかの作品もくわえ、併せて柳宗悦の書や原稿、関係書籍なども展示し、民藝美に触発された作家たちの仕事を紹介します。

[出品作家・点数]

柳宗悦、バーナード・リーチ、河井寛次郎、濱田庄司、芹沢銈介、棟方志功、片野元彦、船木道忠、黒田辰秋、柳悦孝、金城次郎、鈴木繁男、岡村吉右衛門、島岡達三、武内晴二郎、柚木沙弥郎、船木研兒ほか

合計 227 点（予定）

（第 1 民芸館：121 点／第 2 民芸館 106 点を予定）

[関連企画]

【上映会—Leach、河井寛次郎、濱田庄司、柳宗悦司会・座談会】

日時：11 月 27 日（土）、12 月 18 日（土）、1 月 30 日（日）

午後 2 時～（上映時間：約 23 分）

場所：第 3 民芸館 鑑賞無料（ただし会期中の観覧券の提示必要）

定員：先着 20 名程度（各日午後 1 時より第 3 民芸館にて整理券を配布）

【ギャラリートーク（学芸員による展示解説）】

日時：12 月 4 日（土）、1 月 23 日（日）午後 2 時～ 40 分程度

集合：第 1 民芸館 参加費：無料（ただし会期中の観覧券の提示必要）

定員：先着 20 名程度（事前申込不要）

[同時開催]

「柳宗悦と民藝運動の作家たち（館蔵コレクションより）」展

会場：民芸館ギャラリー（第 3 民芸館）

会期：令和 3 年 10 月 26 日（火）～11 月 28 日（日）

ご来館の際はマスクの着用、手指の消毒などの感染症対策にご協力をお願いします。

今後の状況により事業内容が変更になる場合があります。最新情報をご確認の上ご来館ください。

展示内容に関するお問い合わせ

豊田市民芸館 都筑（つづく）、岩間（いわま）

Tel:0565-45-4039

広報画像提供に関するご依頼

豊田市民芸館 岩間（いわま）、佐敷（さしき）

Tel:0565-45-4039 Fax:0565-46-2588

E-mail:mingeikan@city.toyota.aichi.jp

〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町波岩 8 6 - 1 0 0

<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp>

豊田市民芸館